

事業番号 2

事業名 平和構築人材育成事業

評価結果

◆事業内容の改善 / 事業全体の抜本的改善

集計結果

- | | |
|--------------|----|
| ・ 現状通り | 0名 |
| ・ 事業内容の改善 | 3名 |
| ・ 事業全体の抜本的改善 | 3名 |

とりまとめコメント

●事業の成果の判断が難しく、より効率的、効果的な事業となるよう見直すべき。

●実質的に一者応札が続いており、委託先の選定が不透明。競争性の確保を含めた見直しが必要。

（外国の機関を利用すべき、再委託先が不適當等により、廃止すべしとの意見も2名あった。）

評価者のコメント

- 委託事業であるが、委託先の選定過程が不透明。特に委託契約における競争性が確保されていない。
- 研修に参加したアジア人の効果が不明。
- 目的はよいが、より transparent な体制の構築が必要か。
- 成果をどう判断すれば良いのか難しい。この事業を実施したことで従前からどのような成果が得られたのかをもっと明確にするべき。
- 目的達成のための手段として不適切。外国の機関を利用するほうが費用対効果が高いのではないか。実質的には一者応札が続いており、受託法人の事業に占

める割合が高く不明朗な状態にある。廃止すべし。

- 文民専門家として身につける／学習獲得されるべき知識、技術、能力の定義があいまい。本来彼らの学習成果を明示した上で、カリキュラムを作るべきだが、そうした体系性がない。カリキュラムとして不十分。
- 海外の研修機関に日本人を送った方が効率的、効果的ではないか。
- 一般社団法人の役員が再委託先の大学の教員であり、利益相反になっている。ガバナンス、透明性がなく、廃止すべき。
- 少ない予算で、日本人もアジア人も研修し、かつ日本国内の人材育成センターの育成という3つの目標を追うことで成果が弱まっている。対象を日本人に限定し（アジア人を外す）、少数精鋭で海外の経験ある機関で研修させるべき。
- 広島平和構築人材育成センターとNPOピースビルダーズがほぼ同一団体（代表理事、副理事）で、相互に受注して相手を下請けに出し合っていて、非常に問題がある。